

第14回 あ・い・ち・ふ・く・し シンポジウム 開催要綱

『 ともに生きる豊かな地域社会の実現にむけて

～ これからの社会福祉協議会に求められる役割とは ～ 』

1 趣 旨

2013年の社会保障制度改革国民会議において示された「治し支える医療」への転換、そして地域包括ケアの推進という大きな流れは、まさに医療と福祉が手を携え、住民の尊厳ある生活を地域全体で支え、地域で一人の人間として「生ききる」ことを支えるという、福祉の原点に立ち返る提言でもありました。

それから10余年が経過し、私たちは今、かつてないスピードで進む超高齢化に加え、物価高騰による生活困窮、そしてAI技術の急速な進展という、当時では予測しきれなかった新たな局面に立たされています。いのちと暮らしを取り巻く課題が複雑化・深刻化する中で、これからの10年、20年も、誰もが参画意識を持ち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会を維持していくための地域づくりが求められています。

このような複雑な課題を抱える社会だからこそ、高齢化や孤独・孤立を個人の問題とせず、地域全体で包摂していくコミュニティの力が不可欠です。その中で社会福祉協議会は、地域福祉のプラットフォームとして、支援が必要な人だけでなく、あらゆる住民が役割を持ち、互いに支え合える関係性を編み直していくという、新たな時代の舵取りを求められています。

本シンポジウムでは、社会福祉関係者と地域医療・在宅医療を支える医療関係者が意見を交わしながら、社会福祉協議会の役割を改めて見つめ直すことを目的に開催します。

2 主 催（共 催）

愛知県社会福祉協議会

中日新聞社・中日新聞社会事業団

3 後 援（予定）

愛知県

4 日 程

令和8年3月3日（火）

13時30分開会 ※受付開始 13時00分

5 会 場

ミッドランドホール（愛知県名古屋市中村区名駅4丁目7 ミッドランドスクエア 5階）

6 参加定員

190人 ※社会福祉協議会、行政、福祉医療関係者等

7 参加費

無 料

8 個人情報の取扱い

本シンポジウムの参加申込者に関する個人情報は、本会の個人情報保護規程に基づき、適切に取り扱い、他の目的で使用することはありません。

9 プログラム

13:00	受 付
13:30	開会挨拶 愛知県社会福祉協議会 会長 後藤 澄江
13:40	基調報告 「 わたしたちはどんな地域を、どんな暮らしを創りたいのか ～社協にできることを考えよう～」 村木 厚子 氏（ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 会長 ）
14:30	休 憩
14:40	シンポジウム 『 ともに生きる豊かな地域社会の実現にむけて ～ これからの社会福祉協議会に求められる役割とは ～ 』 ＜シンポジスト＞ 村木 厚子 氏（社会福祉法人 全国社会福祉協議会 会長） 唐澤 剛 氏（社会福祉法人 サン・ビジョン 理事長） 横倉 義武 氏（公益社団法人 日本医師会 名誉会長） 大島 伸一 氏（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 名誉総長） ＜コーディネーター＞ 蘆原 千晶 氏（中日新聞社編集局社会部記者）
16:00	閉 会

10 会場アクセス

(1)会場の駐車場には限りがあるため、公共交通機関にて、ご来場ください。

(2)ミッドランドスクエア内のオフィスタワーエレベーターより5階にお越しください。

● 名古屋駅から徒歩5分

● 地下鉄名古屋駅から徒歩1分

● 名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅から徒歩3分

※ アクセス方法については、右記のQRコードよりご確認ください。



